



藤井浩人月刊マガジン

2021.6

市の花・あじさいの由来

6月。美濃加茂市の花、あじさいが綺麗に咲いている様子を見つけられる季節となりました。

美濃加茂市の花があじさいとなった理由として、1954年（昭和29年）に太田町、古井町、山之上村、蜂屋村、加茂野村、伊深村、下米田村、及び三和村・和知村の一部が合併した際に、それぞれの地域の文化や歴史、地域の思いを活かしながら美濃加茂市が一致団結し発展することを、花がひしめき合っ

て咲いている姿に重ね、定められたと聞いています。特色の無い、どこにいても同じような景色や食べ物に溢れてしまう画一的な社会ではなく、個人が輝き、それぞれの特色を表現しながら、全体として大きな花を咲かせていく考え方は、今こそ学ぶべき価値観だと思います。

コロナ禍でも大切にしたいこと

緊急事態宣言が延長され、岐阜県の「まん延防止等重点措置」が6月20日まで延長されることになりました。まだまだ感染による患者や陽性者が出ている美濃加茂市では、感染予防のための行動と免疫力を高められる生活を意識することが必要です。しかし同時に、この1年以上の間に、感染症により失われているものがどれ程あるのか、考える必要があると思います。

先日、ある中学生から「私が中学校に入学して、ずっとコロナ対策をしているから、部活や行事、友達と遊ぶことがほとんどなくて、中学生らしい生活というのが、どういうものなのか、よく分からない」というお話を聞きました。感染症を予防すること、対策することを重視しながらも、過度に恐れすぎ、「私たちにとって大切なもの」を忘れてしまわないよう、皆さんと考えていきたいと思います。

あれから8年

明日、6月2日で私を市長に選出していただいた日から8年が経過します。多くの皆さんに応援していただき、今日を迎えることが出来ました。

どの様な形かはまだ分かりませんが、美濃加茂市民の皆さまのお役に立てる様、美濃加茂市のことを考え続け、行動していきたいと思います。

皆さんから頂いた課題やご意見、未来への想いを、自分なりの提案として書きためていたところ、本一冊分くらいの量となりました。皆さんと美濃加茂市の未来を考えていくための一つのきっかけとなるよう、今後少しずつ提案していきたいと思います。また、私の体験記もこちらのLINEなどを利用して、ご紹介していきたいと思います。

これからも応援よろしく申し上げます。

藤井浩人